

1. 日時 平成30年10月23日(火) 9時～17時

2. 研修内容

1) [山陰道]多伎・朝山道路 湖陵・多伎道路(松江国道事務)

- ① 事業の概要及び進捗状況について
- ② ICT舗装工の取組と3次元データによる出来形管理方法について
- ③ 多伎・朝山道路小田西地区舗装工事 ICT舗装工
- ④ 湖陵・多伎道路二部地区改良第8工事 ICT土工
- ⑤ 湖陵・多伎道路二部高架橋下部工事 下部工
- ⑥ 湖陵・多伎道路久村地区改良第10工事 ICT土工

一般国道9号の出雲市と大田市の境界に位置する「仙山峠」は急カーブが連続し、交通事故が多発するなど交通の難所となっており、また、近隣では地滑り災害が発生し全面通行止めになるなどの災害履歴があり、主要幹線道路として安全安心な通行の確保が課題となっています。

このため、【山陰道】多伎・朝山道路及び朝山・大田道路の整備が一体的に進められており、この内、朝山・大田道路は、平成30年3月18日に供用を開始しました。一方の多伎・朝山道路は、出雲市多伎町久村から大田市朝山町朝倉に至る延長9.0kmの自動車専用道路として平成31年3月開通の予定で現在工事の施工が進められています。また、湖陵・多伎道路は、緊急輸送道路の確保及び第3次医療施設への速達性の向上等を目的とした出雲市湖陵町三部から出雲市多伎町久村に至る延長4.5kmの自動車専用道路として事業が進められています。今回は、この2つの事業について、新技術の活用状況等実地による研修を行いました。以下にその状況を報告します。

【実地状況】

湖陵・多伎道路二部地区改良第8工事 ICT土工





湖陵・多伎道路二部高架橋下部工事



湖陵・多伎道路久村地区改良第10工事 ICT土工



多伎・朝山道路小田西地区舗装工事 ICT舗装工

今回の研修では、はじめに多伎コミュニティセンターにおいて①島根県内における山陰道の整備状況、新技術の活用状況。続いて平成29年度から始まった②ICT活用試行工事(舗装)における3次元データによる出来形管理方法。の2題について講義が行われました。現地に移動し実地研修では、各工事の工事概要の説明の後、改良工事では、ICT土工の各段階の説明が行われ、特にICT建設機械による施工段階においては、実機による説明及び工事の進捗状況について、工事担当技術者から詳しく説明が行なわれました。また、下部工事では、新技術活用の取組や工事の進捗状況について、工事担当技術者から詳しく説明が行なわれました。午後からは、時々少雨となりましたが、無事予定の研修を終えることができました。工事工程促進が求められる中、本研修の実施にあたり、快く受け入れて頂きました、現地では丁寧な説明をしていただいた関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。